

議員が聴いた！ 今とこれから

一般質問

一般質問は、議員個人が市政全般に関わるさまざまなテーマについて市の方針や市長の考え等を問いただす場です。

令和4年12月定例会では9人の議員が一般質問を行いました。
(本文は質問者自身の原稿によるものです。)

質問者
(質問順)

山口 恵子

上條 元康

柴田 博

赤羽 誠治

石井 勉

山崎油美子

古畑 秀夫

篠原 敏宏

青柳 充茂

※所管する担当課を掲載
しています。

質問者のすべての
質問事項は
ホームページで
確認できます。



市民の立場に立った親切な対応を

その他の
質問事項

- ▼ 不在者投票用紙の請求手続きを電子申請に
- ▼ 子宮頸がんワクチン接種の啓発を



公明党
やまぐち
山口 恵子

◆相続登記の義務化

問 所有者不明土地や空き家問題が高齢化とともに深刻さを増している。土地や家屋の管理が行き届かず街の景観を大きく損ね、住民の安全や生活を脅かす事態になりかねない。市の現状と空き家の発生予防の取り組みは。

答 相続登記が令和6年4月から義務化され、相続登記の申請をしなかった場合には10万円以下の過料が科せられる場合がある。市では固定資産税の納税通知が届かず、戻ってきてしまう件数が令和4年度は161件あり、この5年間で倍増している。さらに深刻化することが想定される。

(税務課)

答 令和3年に区長に依頼して行った調査では約1200件の空き家があり、実態調査をしている。空き家所有者等への啓発は公民館と連携し、専門家を講師として啓発講座

を実施している。

(建築住宅課)

要望 財産を適正に管理するため家の終活ハンドブックの作成を望む。

◆母子手帳のデジタル化

問 子どもの発育状況に配慮した電子母子手帳は、紙の母子手帳と併用でき、災害等で紛失した場合でも貴重な記録は残る。導入についての考えは。

答 動画を活用した情報発信や、健診や予防接種手続きのデジタル化、ビデオ通話での相談にも対応できる、様々な機能がある「母子手帳アプリ」の導入を検討している。

(市長)



成長の記録「母子手帳」